

大学図書館における情報専門職に関する調査から見えるもの（事例報告）

三重大学人文学部 小山憲司

e-mail: koyama@human.mie-u.ac.jp

1. LIPER による調査結果

1.1 LIPER の目的

(1) LIPER とは

- ・ 2003 年度から 2005 年度に行われた科研費による研究
- ・ Library and Information Professions and Education Renewal
- ・ 情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究

(2) LIPER の目的

- ① 図書館を中心にかかわりのある機関（企業、情報センター、博物館、美術館、文書館など）に所属する専門的図書館員の配置状況や職務内容の歴史と現状を踏まえて、養成および研修にあたる機関がこれまでどのような活動を行ってきたかを評価する。
- ② 図書館および関連機関において必要な専門的知識技能の範囲を明らかにし、養成および研修にあたる機関がそれをどのように分担して担っていくのか、また教育の質を維持するための共通試験の導入、教育研修にかかわる認定、評価方法など、今後の図書館情報学教育を進めるための具体的指針を明確にするものとする。

1.2 大学図書館班の研究のねらい

- ・ 大学図書館員はどのように位置づけられているか
- ・ 今日の大学図書館員に求められる専門的知識・技術はなにか
- ・ それらを習得するためには、いかなる学習機会が望ましいか

1.3 大学図書館班の研究概要

(1) グループ・インタビュー調査

- ・ 館長、管理職、中堅、若手職員の 4 つのグループを設定し、フォーカス・グループ・インタビュー (FGI) を実施
- ・ 全 8 大学 (2003 年度 3 大学、2004 年度 5 大学)

(2) 質問紙調査

- ・ 実施時期：2004 年 4 月から 6 月
- ・ 調査対象：全国の国公立大学 687 大学の館長、管理職、中堅、若手職員の各 1 名
 - 回収率：大学 63.9%、館長 55.6%、管理職 57.4%、中堅 58.8%、若手 55.8%
- ・ 調査票の構成：
 - フェースシート（年齢、勤務経験、取得資格など）
 - 大学図書館員に必要な知識・技術について（52 項目を設定）
 - 図書館情報学教育・図書館員養成教育・省令科目について
 - 人事制度、研修（管理職のみ）

- ・ 先行研究「図書館学教育の実態とその改善に関する調査」（東京大学教育学部、1989）との比較

1.4 大学図書館班による研究成果

(1) グループ・インタビューによる大学図書館員に必要な知識・技術の枠組み

- ・ 一般的能力・教養（企画力、コミュニケーション能力）
- ・ 主題知識、コンテンツ
- ・ 図書館・情報の知識・技術
- ・ 情報技術

(2) 質問紙調査による大学図書館員に必要な知識・技術の枠組み

CILIP による BPK (Body of Professional Knowledge、2004) を援用

中核となる知識・技術領域	<p>①既存のサービス（二次資料・参考図書、資料目録法・オンライン目録システム、参考調査サービス、情報検索技術、図書館・文献利用教育、閲覧・貸出サービス）</p> <p>②図書と図書館（古典籍、資料保存、メディアの歴史、障害者サービス、図書館建築、図書館史、書誌学）</p> <p>③新しいサービス（ネットワーク情報資源、逐次刊行物、電子ジャーナル官庁刊行物・特許資料、その他の非図書資料および利用機器、ドキュメントデリバリーサービス、図書館業務システムの運用、管理）</p> <p>④資料組織化（メタデータ、分類法・件名法、索引法、抄録法、二次資料/DB作成）</p> <p>⑤コレクション形成（分野別専門資料、資料選択、コレクション構築と評価、主題専門知識）</p>
実現環境の知識・技術領域	<p>①図書館の基準やネットワーク（知的財産権・著作権、図書館ネットワーク・図書館協力、利用者のプライバシー、図書館関係法規・基準）</p> <p>②情報・出版流通（知的自由・検閲、外国大学図書館事情、出版流通/学術情報流通、高等教育事情）</p>
汎用的・移転可能な知識・技術領域	<p>①コミュニケーション（カスタマケア、広報活動、ウェブコンテンツの構築・管理、プレゼンテーション技術、文書・企画書の作成、会話・接遇、研究調査法、利用教育などにおける教授法）</p> <p>②情報技術（データベース等の運用・管理、ネットワークの運用・管理、プログラミング）</p> <p>③経営管理（経営理論・手法、大学行財政、予算管理・会計）</p> <p>④外国語（英語、英語以外）</p>

1.5 LIPER による提言

(1) 図書館情報学カリキュラム構造の提示

- ・ コア領域
 - 現在の司書課程に相当
 - 図書館情報学基礎、情報利用者、情報資源組織化、情報メディア、情報サービス、

情報システム、経営管理の7つを設定

- ・ 個別情報領域
 - 修士課程レベルでの履修を想定
 - 主題や情報メディアの形態、利用者という観点から科目を設定
- ・ 情報専門職領域
 - 修士課程レベルを想定
 - 公共図書館、大学図書館、学校図書館といった館種に特徴的な科目を設定

(2) 「図書館学検定試験（仮称）」の実施

コア領域で示された「司書」としての専門的知識を一定水準に維持するために、またここで習得した知識・技術を学習者が評価できるようにするために、「図書館学検定試験（仮称）」の実施を提案した。

1.6 LIPER の調査結果から見えるもの／見えなかったもの

- ・ 大学図書館員に求められる知識・技術の枠組み
- ・ キャリア形成という文脈からの視点
- ・ 未来志向的な考察

2. 大学図書館に求められる機能とその実現

2.1 アメリカの大学図書館における人材登用の変化：求人広告にみる MLS の位置づけ

- ・ 図書館のコア機能（パブリック・サービス、テクニカル・サービス、管理職）では MLS が採用要件として示される。
- ・ 一方、情報技術や特殊コレクションといった、より専門的な知識・技術を必要とするポストについては、MLS は必ずしも採用要件として設定されていない。

	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005
MLS を求める	79.4	77.0	79.4	85.7	84.7	75.0	57.9
求めない、あるいは記述なし	20.6	23.0	20.6	14.3	15.3	25.0	42.1
総数	311	400	738	823	568	816	380

(Grimes, Marybeth F. and Grimes, Paul W. "The academic librarian labor market and the role of the master of library science degree: 1975 through 2005," The journal of academic librarianship, 34(4), 2008, p.332-339.)

2.2 大学図書館として実現すべき機能とその方法

- ・ 大学図書館がその機能を実現するうえで、そこで働く（あるいは採用する）人材に、専門職のコアとして、図書館情報学の知識・技術が求められている。
- ・ ただし、大学図書館がサービスを展開するうえで、それ自体は必要条件ではあるが、十分条件ではない。

- ▶ アメリカの大学図書館の場合、人に仕事をつけるのではなく、仕事（post）に人をつけている。
- ・ 組織の総体として、大学図書館サービスをどのように実現するのかという視点から、人材の採用、育成、処遇といったキャリア形成を検討する必要がある。

3. 今後のキャリア形成に向けた視点

3.1 誰に対するサービスか=大学図書館の拠って立つ基盤

- ・ 教員、研究者
- ・ 学生
- ・ 職員
- ・ 地域の人々 など

3.2 サービスを提供する対象者（利用者）を知る

- ・ 利用者ニーズ
 - ▶ 現在の研究動向
 - ▶ カリキュラム
 - ▶ 大学の目標
- ・ 利用行動

3.3 利用者（あるいは大学図書館）を取り巻く環境の変化

- ・ 学術情報の電子化にともなう利用行動の変化

3.4 大学における図書館サービスの実現に向けた視点

- ・ コンテキストの重視
- ・ カスタマ・ケア
- ・ 潜在的な教育・研究活動の顕在化

参考文献

- ・ 『情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合研究：平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書』上田修一（研究代表），2006. <<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/liper/report06/report.htm>> [2008-11-27]
- ・ 永田治樹「大学図書館における情報専門職の知識・技術の体系：LIPER 大学図書館調査から」『図書館雑誌』99(11), 2005, p.774-776.
- ・ Qualifications and Professional Development Department, CILIP. “Body of professional knowledge: setting out an adaptable and flexible framework for your changing needs,” CILIP, 2004, (online), <<http://www.cilip.org.uk/qualificationschartership/bpk>> [2008-11-27]